

問1 浄土真宗の強い信仰で結びついた門徒たちが、室町時代に起こした武装蜂起のことを何という？

1. 一向一揆 2. 国一揆 3. 山城の国一揆 4. 土一揆

問2 首里を都とする琉球王国が、東アジアと東南アジアの間に立って行った経済活動を何といいますか？

1. 朝貢貿易 2. 中継貿易 3. 勘合貿易 4. 南蛮貿易

問3 室町幕府が、中国の明と行っていた貿易のことを何という？

1. 南蛮貿易 2. 朝貢貿易 3. 勘合貿易 4. 朱印船貿易

問4 京都の北朝と吉野の南朝の対立を終わらせ、南北朝を合体させた室町幕府の第3代将軍は誰？

1. 足利義詮 2. 足利直義 3. 足利尊氏 4. 足利義満

問5 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた「七・五・七・五」を基調とするリズムを何といいますか？

1. 五七調 2. 七五調 3. 五五調 4. 七七調

問6 明に渡って絵画を学び、独自の力強い水墨画を大成させた画僧は誰？

1. 雪舟 2. 狩野元信 3. 狩野正信 4. 如拙

問7 室町時代、大規模な内乱の最中に建立され、その後の日本文化の礎となった建物を何という？

1. 元寇 2. 観応の擾乱 3. 明応の政変 4. 応仁の乱

問8 室町時代、農民たちが「寄合」を通じて村の運営を独自に行うようになった村の組織を何というか？

1. 検地 2. 年貢 3. 惣村 4. 寄合

問9 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？

1. 足利義政 2. 足利義満 3. 足利尊氏 4. 足利義教

問10 能の母体となった、民衆の間で行われていた芸能を何という？

1. 茶の湯 2. 猿楽 3. 田楽 4. 連歌

問11 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？

1. 佐敷 2. 那覇 3. 首里 4. 浦添

問12 1467年、将軍の跡継ぎ問題と守護大名同士の対立がきっかけとなって起こった大きな戦乱を何という？

1. 明応の政変 2. 元寇 3. 観応の擾乱 4. 応仁の乱

問13 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送していた運送業者を何という？

1. 馬借 2. 問丸 3. 車借 4. 座

問14 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？

1. 寄合 2. 土倉 3. 惣 4. 座

問15 鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇の政権から離反し、京都に武家政権を樹立した人物は誰？

1. 足利義満 2. 足利義政 3. 足利義教 4. 足利尊氏

問16 室町時代に町衆が主体となって祭礼が運営された、京都にある神社を何という？

1. 東大寺 2. 春日大社 3. 八坂神社 4. 清水寺

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の門徒が団結して守護大名や他の宗派と戦った武装蜂起です。各地で発生し、時には地域全体の支配権を握るほどの強い勢力を誇りました。
問2	答え 2 中継貿易	琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく中継貿易を行いました。これにより莫大な富を得て繁栄しました。
問3	答え 3 勘合貿易	勘合貿易は、倭寇の取り締まりを条件に明との間で行われた公貿易です。幕府や一部の大名が主導し、銅銭や絹、美術品などを輸入しました。これにより莫大な富を得た幕府は、室町文化の発展を支えることになりました。
問4	答え 4 足利義満	室町幕府の第3代將軍である足利義満は、力のある守護大名を抑え込むと同時に、1392年に南朝の天皇から北朝の天皇へ位を譲らせる形で南北朝を合体（統一）させました。
問5	答え 2 七五調	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「七五調」のリズムで表現しました。これにより、多くの人々に内容が伝わり、政治的な批判が庶民の間にまで浸透しました。
問6	答え 1 雪舟	雪舟は日本の禅僧でありながら、遣明船に乗って中国へ渡り、本場の絵画技術を学びました。帰国後、彼は風景を大胆な構図で表現する日本独自の水墨画を確立し、数多くの傑作を残しました。「四季山水図巻」などが代表作として知られています。
問7	答え 4 応仁の乱	1467年に始まったこの戦いは、全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、日本全土に広がりしました。これにより、室町幕府の権威は地に落ち、京都の街は焼け野原となりました。
問8	答え 3 惣村	惣村は、村人が共同で地主や守護大名に対抗するための組織でした。村人たちは「寄合」を開いて村のルールを決めたり、用水路の管理を行ったりしました。また、守護大名が過度な年貢を取りに来たときには、団結して抵抗する権利も持っていました。これにより、中世の村は高い自主性を持つようになりました。
問9	答え 1 足利義政	足利義政は京都の東山に山荘（現在の慈照寺）を建て、そこを拠点に水墨画、茶の湯、華道などを愛好しました。この時期に醸成された文化は、簡素で気品のある「わび・さび」の精神を重んじる東山文化として完成されました。
問10	答え 2 猿楽	「猿楽」は、当時の民衆に親しまれていた物真似や軽業、踊りなどを中心とした芸能です。室町時代になると、観阿弥・世阿弥親子によって芸術的な洗練が加えられ、「幽玄」の美を伴う現在の能へと進化しました。
問11	答え 3 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産物を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問12	答え 4 応仁の乱	この対立は1467年に武力衝突へと発展し、京都を主戦場として約11年間にわたって続きました。將軍の権威は失墜し、守護大名同士の勢力争いが全国へ拡大しました。
問13	答え 1 馬借	馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせて、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。
問14	答え 2 土倉	「土倉（どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。酒屋とともに幕府から営業の認可を得る代わりに税を納めることで、幕府の重要な財源となりました。
問15	答え 4 足利尊氏	足利尊氏は有力な武士団を率いて後醍醐天皇に背き、光明天皇を立てて京都に新しい武家政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。
問16	答え 3 八坂神社	八坂神社で行われる祇園祭は、室町時代の京都において、有力な商工業者である「町衆」が中心となって運営されました。町衆は自分たちの住む街を守り、団結力を誇示するために豪華な山鉾を造り、祭りを盛り上げました。これは都市自治の象徴でもありました。